

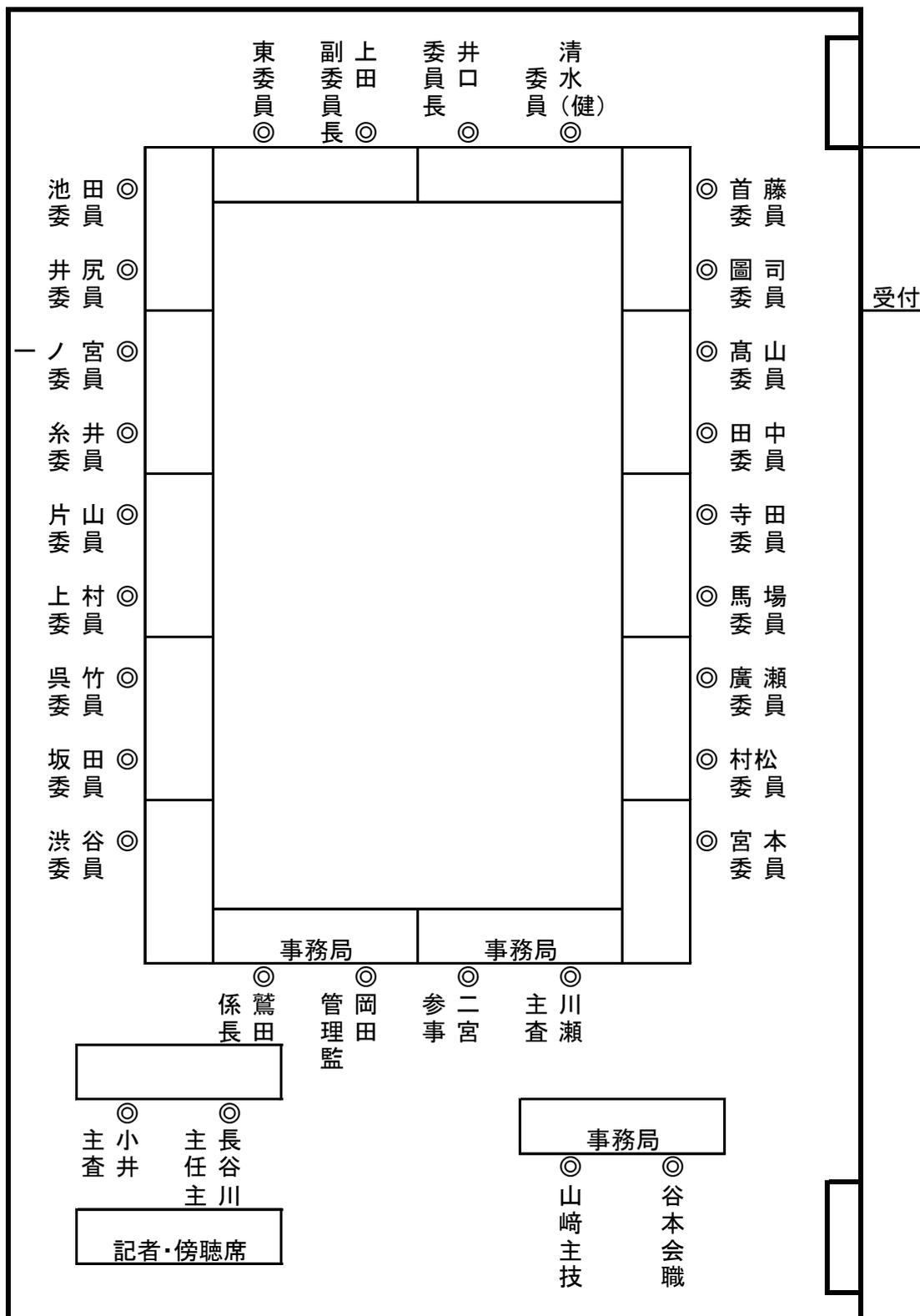
第 18 回 広 報 ・ 県 民 運 動 専 門 委 員 会

次 第

日 時 : 令和 2 年 6 月 18 日 (木) 10:00~11:30
場 所 : 大津合同庁舎 7-D 会議室

1. 開 会
2. 開会挨拶
3. 審議事項
 - (1) イメージソング・ダンスの制作について
 - (2) 第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会
滋賀県開催準備委員会 広報・県民運動専門委員会部会設置要綱(案)
について
4. 閉 会

配席図





第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

滋賀県開催準備委員会

第18回広報・県民運動専門委員会

会議資料



第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会マスコットキャラクター

チャッフィー

キャッフィー

日時：令和2年6月18日(木)10:00～11:30

場所：大津合同庁舎7-D会議室

「広報・県民運動専門委員会」委員名簿

(順不同・敬称略)

分野	所属団体・役職名	氏名	備考
マスコミ	日本放送協会大津放送局 副局長	村松 泰	
	びわ湖放送株式会社 放送管理局報道制作部グループリーダー	坂田 しのぶ	
	株式会社京都放送滋賀支社 支社長	宮本 英樹	
	株式会社京都新聞社滋賀本社 編集局 編集部長	渋谷 哲也	今回から就任
	株式会社中日新聞社大津支局 支局長	池田 千晶	
	株式会社エフエム滋賀 編成制作部 部長	糸井 孝実	
スポーツ	公益財団法人滋賀県スポーツ協会 生涯スポーツ担当次長 兼 広域スポーツセンター次長	呉竹 政彦	今回から就任
	滋賀県障害者スポーツ協会 副主幹	吉成 永部	
経済・福祉・ 観光・社会	滋賀県商工会議所連合会 滋賀県中小企業相談所専門指導室 室次長	清水 健司	今回から就任
	社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会 常務理事 兼 事務局長	谷口 郁美	今回から就任
	公益社団法人びわこビジターズビューロー 事務局長	上田 重和 (副委員長)	
	公益財団法人淡海文化振興財団 常務理事 兼 事務局長	東 登志也	
	滋賀県地域女性団体連合会 副会長	上村 照代	
	一般財団法人滋賀県老人クラブ連合会 事務局長 兼 常務理事	八木 兵次郎	
	滋賀県青年団連合会 会長	圖司 紘子	今回から就任
学校関係	滋賀県小学校長会 副会長	首藤 勲	今回から就任
	滋賀県中学校長会 副会長	一ノ宮 賢了	今回から就任
	滋賀県高等学校長協会 会長	田中 孝昌	今回から就任
	滋賀県私立中学高等学校連合会 副会長	寺田 佳司	
	滋賀県特別支援学校長会	井尻 正志	
有識者	同志社大学政策学部 教授	井口 貢 (委員長)	
	株式会社TMオフィス チーフPRディレクター	馬場 大輔	
	コミュニケーション・プランニング chocomaika 代表	廣瀬 香織	
市町	東近江市企画部広報課長	高山 幸生	
	豊郷町企画振興課長	清水 純一郎	
県	滋賀県知事公室広報課長	片山 昇	今回から就任
	滋賀県総合企画部県民活動生活課 県民活動・協働推進室長	上山 輝幸	今回から就任

審議事項

- (1) イメージソング・ダンスの制作について

- (2) 第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会
滋賀県開催準備委員会 広報・県民運動専門委員会部会設置要綱(案)
について

「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ」 イメージソングおよびダンスの制作について（案）

1 制作趣旨

- (1) イメージソング・ダンスを制作し、広く活用することで、国スポ・障スポ開催の機運醸成を図ることができる。
- (2) イメージソング・ダンスは、国スポ・障スポ開催をPRするイベントや総合開・閉会式の式典プログラムにも活用でき、制作することによるメリットが大きい。
- (3) 歌や踊りは、子どもから大人まで誰でも気軽に参加できるものであり、イメージソング・ダンスを活用することで、県民の国スポ・障スポへの参加を促すことができる。

2 イメージソング

(1) 制作方法

本県ゆかりのアーティストに制作を依頼する。

(2) 依頼する理由

- ・公募の場合と比較して、短期間で質の高い作品が期待できる。
- ・本県ゆかりのアーティストに依頼した場合、話題性があり広報効果が高い。
また、「本県ゆかり」であれば、県民に親しみをもってもらいやすく、機運醸成が期待できる。

(3) 制作内容

愛称「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ」およびスローガン「湖国の感動 未来につなぐ」の趣旨を広く伝えられるような、明るく爽やかに親しみやすく、若い世代に気軽に口ずさんでもらえるアップテンポの曲を制作。

両大会の雰囲気を盛り上げるため、ダンスミュージックとしての活用をはじめ、両大会開催期間まであらゆる場面でPRに活用する予定。

(4) 制作例

- ・歌詞、楽譜 それぞれ一部
- ・楽曲が納められた原版録音物 (CD-R)
 - メッセーj動画 (3分程度)
 - ノーマル ver. (4分半程度)
 - ノーマル ver. (インストゥルメンタル)
 - ノーマル ver. (手話)
 - ショート ver. (3分半程度)
 - 合唱楽譜 (同声3部、混声4部、ピアノ伴奏譜含む)
 - 吹奏楽譜

(5) 決定方法

- ・広報・県民運動専門委員会において決定し、常任委員会に報告する。

3 ダンス

(1) 制作方法

- ・イメージソングをもとに専門家に振付を依頼する。

(2) 制作内容

- ・幅広く県民の参加を促すため、以下のとおり振付を制作。特に、幼児から学生（小・中・高校生）が習得可能で、元気に楽しく踊ることができる振付にする。
 - ①ノーマル版：小学生高学年以上を対象とした踊り甲斐があるダンス
 - ②イージー版：園児～小学生低学年、高齢者を対象とした簡単なダンス
 - ③シットイング版：車いすでも踊れる上半身の振り付けをしたダンス
- ・「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ」イメージソングの歌詞やリズムにあった、踊りやすく滋賀らしさを取り入れたダンス。

(3) 制作例

- ・振付説明書（振付の動作をイラスト等により説明したもの）
- ・制作した振付を映像として収録した DVD
 - プロモーション動画
 - レッスン動画
 - ノーマル ver.
 - イージー ver.
 - シットイング ver.
 - ショート ver.

(4) 決定方法

- ・広報・県民運動専門委員会において決定し、常任委員会に報告する。

4 活用例

(1) イメージソング

- 【会期前】
 - ・国スポ・障スポのPRイベント、CM等
 - ・県庁、市町村庁舎、公共機関等の館内放送
 - ・合唱用楽譜を作成し、各種合唱コンクールの課題曲に使用 等
- 【会期中】
 - ・総合開・閉会式の式典プログラム
 - ・県庁、市町村庁舎、公共機関等の館内放送
 - ・各競技会場での放送 等
- 【会期後】
 - ・各種合唱コンクールの曲に活用 等

(2) ダンス

- 【会期前】
 - ・国スポ・障スポのPRイベント等で披露
 - ・学校等の運動会のプログラムに使用
 - ・保育所、幼稚園の踊り、小・中学校の授業で活用
 - ・健康の保持増進の体操に活用 等
- 【会期中】
 - ・総合開・閉会式の式典プログラム
 - ・各競技会場での披露
- 【会期後】
 - ・学校の授業や健康の保持増進の体操に活用

5 今後の予定

令和2年6月	広報・県民運動専門委員会（制作方法の決定）
8月	ソング制作依頼
令和3年1月	ソング完成・ダンス制作依頼
2月	ダンス完成
3月	広報・県民運動専門委員会（ソング・ダンスの審議決定）
5月	ソングCD、ダンスDVD制作依頼
6月	常任委員会（ソング・ダンス報告）
8月頃	「開催決定イベント」において発表

6 イメージソング・ダンス選定部会について

イメージソング・ダンスの制作に当たって、公募により楽曲を選定するなど、制作過程において特に音楽や踊りに関する知見を有する者の意見が必要な場合が想定されたことから、本専門委員会に部会を設置するため、昨年度、広報・県民運動専門委員会部会設置要綱を改正したところであるが、イメージソング・ダンスの制作を専門家に依頼する場合は、本部会は開催しないこととする。

7 参考

昭和56年開催 第36回国民体育大会「びわこ国体」(昭和56年10月レコード発売)
開催を記念して実行委員会が制作

	びわこ讃歌	びわこ音頭
作詞	山上 路夫	南 英市
作曲	いずみ たく	遠藤 実
歌唱	デューク・エイセス	村田 英雄 & 小松 みどり

先催県における大会イメージソング、ダンスについて（参考）

制作状況

国体の先催県の多くが、大会イメージソング、ダンス等を制作している。

なお、イメージソング等について、(公財)日本スポーツ協会の「国民体育大会開催基準要項」等に規定はなく、各開催県の任意とされており、一般公募や地元出身ミュージシャン等への依頼などの方法により制作されている。

(H28～R5 開催県)

開催県	イメージソング	ダンスソング
H28 岩手	笑顔の賛歌	わんこきょうだいのうた ~国体・大会 ver.~
H29 愛媛	えがおは君のためにある	(イメージソングを使用)
H30 福井	(ダンスソングを使用)	君が最高に輝くように
H31 茨城	そして未来へ	(イメージソングを使用)
R2 鹿児島	ゆめ~KIBAIYANSE~	(イメージソングを使用)
R3 三重	未来に輝け	(イメージソングを使用)
R4 栃木	いちご一会	(イメージソングを使用)
R5 佐賀	《 制作中 》	

○先催県のイメージソング制作状況

回	開催年	開催地	部会設置	制作方法	タイトル	作詞	作曲	歌唱	編曲	
71	2016	岩手	なし	特定人に依頼	笑顔の賛歌	臼澤岬 江崎としこ	佐藤将展(盛岡市)	臼澤みさき(大槌町) 歌手	佐藤将展 (盛岡市)	
72	2017	愛媛	設置	公募 (歌詞・曲)	えがおは 君のためにある	篠原勲(松山市) ※市内教諭が補作詞		水樹奈々(新居浜市) 声優・歌手	石戸谷斉 (東京都出身)	
73	2018	福井	なし	特定人に依頼	君が最高に輝くように	石田公代(越前町):作曲家、演奏家、LSM-Projectキーボード LSM-Project				
74	2019	茨城	設置	公募 (歌詞・曲)	そして未来へ	兒玉苑香(愛知県)		磯山純(水戸市) シンガーソングライター	大寄慶子 (広島県)	
75	2020	鹿児島	なし (専門委員会)	特定人に依頼	ゆめ ~KIBAIYANSE~	辛島美登里(鹿児島市出身)			NAOKI-T (神奈川県)	
76	2021	三重	設置	公募 (歌詞・曲)	未来に響け	奥野和憲(京都府)		野田愛実(松阪市) シンガーソングライター	牧戸太郎(松阪市) 作曲家・編曲家	
77	2022	栃木	設置	公募 (歌詞・曲)	いちご一会	笠木敦志(千葉県)		サトウヒロコ(壬生町) シンガーソングライター	田部井とおる 作曲・編曲	
78	2023	佐賀	なし (専門委員会)	現在制作中						

○先催県の国体イメージソング制作状況(※印は、公募なし)

回数(開催地)	第71回(岩手)	第72回(愛媛)	第73回(福井)	第74回(茨城)
応募点数	※	166	※	285
回数(開催地)	第75回(鹿児島)	第76回(三重)	第77回(栃木)	第78回(佐賀)
応募点数	※	169	152	※

イメージソング制作方法の比較検討

①新規制作⇔既存曲

方法	主なメリット	懸案事項・留意点
新たに制作	<ul style="list-style-type: none"> ・大会のイメージに合わせた楽曲にできる ・著作権の調整が比較的容易である 	<ul style="list-style-type: none"> ・制作にかかる費用や時間が必要となる ・既存曲に比べて楽曲の完成度がよめない
既存曲を活用 (近年の先催県では既存曲を使った例はない)	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き慣れた良い曲、人気の曲等を選択可能である ・制作にかかる費用や時間が必要なくなる 	<ul style="list-style-type: none"> ・大会用につくられた曲ではないため、著作権等の関係で編曲など自由に使えないおそれがある ・既存曲のイメージが両大会のイメージに結びつかないおそれがある ・選曲する基準を設定することが難しい

②(新規制作の場合)専門家へ依頼⇔一般公募

方法	主なメリット	懸案事項・留意点
専門家への依頼	<ul style="list-style-type: none"> ・主催側のイメージに合わせた楽曲が期待できる ・県ゆかりのアーティストであれば、広報効果が高く、県民にも親しみを持ってもらうことが期待でき、大会開催までの機運醸成に効果的である ・公募に比べて高い完成度が期待できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・条件面で折り合えない、あるいは調整に時間を要するおそれがある ・アーティストのイメージも考える必要がある
一般公募	<ul style="list-style-type: none"> ・公募実施の告知により、県民を含め全国に滋賀国スポ・障スポを周知できる ・広く多種多様な楽曲を提供してもらえる 	<ul style="list-style-type: none"> ・作詞、作曲は、できる人が限られるうえ、完成度を求めると、募集対象が全国とならざるをえず、実態としては県民参加の色合いは薄い ・応募数、楽曲の完成度がよめない ・歌唱者も検討が必要になり、制作プロセスに時間がかかる

○先催県のイメージダンス制作状況

回	開催年	開催地	制作方法	振付制作者	
73	2018	福井	振り付け委託	藤田 善宏 氏 ダンスユニット主宰 群馬大学非常勤講師	スタンダードバージョン シンプルバージョン シンプル・座位バージョン ハピネス体操 ふく福ハッピー体操
74	2019	茨城	振り付け委託	茨城県女子体育連盟	イージーバージョン スタンダードバージョン エキスパートバージョン
75	2020	鹿児島	振り付け委託	小松 恵理子 氏 鹿児島女子短期大学 教授	スタンダードバージョン(小学校高学年以上) 簡単に踊りやすいイージーバージョン(小学校中学年以下) 座って踊れるシットティングバージョン(車椅子利用者(高齢者など))
76	2021	三重	振り付け委託	後藤 陽子 氏 三重大学教授	イージーバージョン スタンダードバージョン
77	2022	栃木	振り付け委託	山田喜美江 氏 栃木県女子体育連盟 山田リズムクラブ代表	イージーバージョン スタンダードバージョン シットティングバージョン
78	2023	佐賀			現在制作中

新 旧 対 照 表

旧			新		
第1条から第6条 (略) 別表 (第2条関係)			第1条から第6条 (略) 別表 (第2条関係)		
部会の名称	付託事項	委任事項	部会の名称	付託事項	委任事項
マスコットキャラクター選定部会	マスコットキャラクターの候補選定に関する事	\	マスコットキャラクター選定部会	マスコットキャラクターの候補選定に関する事	\
愛称・スローガン選定部会	愛称・スローガンの候補選定に関する事	愛称・スローガンの規程書体の決定に関する事	愛称・スローガン選定部会	愛称・スローガンの候補選定に関する事	愛称・スローガンの規程書体の決定に関する事
ポスター等選定部会	大会公式ポスターの候補選定に関する事	大会広報用ポスターの選定および決定に関する事	ポスター等選定部会	大会公式ポスターの候補選定に関する事	大会広報用ポスターの選定および決定に関する事
イメージソング・ダンス選定部会	イメージソング・ダンスの作成方法の検討および候補選定に関する事	\	イメージソング・ダンス選定部会	イメージソング・ダンスの作成方法の検討および候補選定に関する事	\
			推奨花選定部会	花いっぱい運動にかかる推奨花の候補選定に関する事	\

審議事項 (2)

**第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会
滋賀県開催準備委員会 広報・県民運動専門委員会 部会設置要綱（案）**

（趣旨）

第 1 条 この要綱は、第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会滋賀県開催準備委員会専門委員会設置規程第 5 条の規定に基づき、広報・県民運動専門委員会（以下「専門委員会」という。）の部会の設置および運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

（部会の名称および付託事項）

第 2 条 部会の名称および専門委員会からの付託事項および委任事項は、別表のとおりとする。

（部会の役員）

第 3 条 部会に部会長を置く。

- 2 部会長は、専門委員会委員長が指名する。
- 3 部会長は、部会を代表し、会務を総理する。
- 4 部会長に事故があるときは、あらかじめ部会長が指名した部会委員がその職務を代理する。

（任期）

第 4 条 部会委員の任期は、部会の目的が達成されたときまでとする。ただし、部会委員が就任時の機関、団体等の役職を離れたときは、その部会委員は辞任したものとみなし、その後任者が前任者の残任期間を務めるものとする。

（会議）

第 5 条 部会の会議は、部会長が招集し、議長となる。

- 2 部会長は、付託事項の審議結果について、専門委員会に報告するものとする。

（庶務）

第 6 条 部会の庶務は、第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会滋賀県開催準備委員会事務局において行う。

附 則

この要綱は、平成 28 年 9 月 8 日から施行する。

附 則

この要綱は、平成 30 年 8 月 30 日から施行する。

附 則

この要綱は、平成 31 年 2 月 12 日から施行する。

附 則

この要綱は、令和元年5月10日から施行する。

附 則

この要綱は、令和2年6月18日から施行する。

別表（第2条関係）

部会の名称	付託事項	委任事項
マスコットキャラクター 選定部会	マスコットキャラクター の候補選定に関するこ と。	
愛称・スローガン 選定部会	愛称・スローガンの候補 選定に関すること。	愛称・スローガンの規程 書体の決定に関するこ と。
ポスター等選定部会	大会公式ポスターの候補 選定に関すること。	大会広報用ポスターの選 定および決定に関するこ と。
イメージソング・ダンス 選定部会	イメージソング・ダンス の作成方法の検討および 候補選定に関すること。	
推奨花選定部会	花いっぱい運動に係る推奨 花の候補選定に関するこ と。	

花いっぱい運動

花いっぱい運動とは、学校や市民の方々に育てていただいた推奨花で競技会場や沿道を彩り、大会を訪れる選手や観戦者を花いっばいで迎える取組です。

スケジュール（他県の例）

開催4年前
2020年

【推奨花の選定】

花いっぱい運動で栽培するための花（栽培しやすい花等）を約10種選定



開催3年前
2021年

【試験栽培】

学校や市町と連携し、推奨花を大会の会期に咲かせる栽培方法を試験



開催2年前
2022年

【広報物の作成】

栽培を普及させるための栽培暦やガイドブックの作成

【栽培の普及】

県民に広く当運動に参加してもらえるよう、また、両大会の広報にも繋がるよう、推奨花の栽培を普及



開催1年前
2023年

【会場での栽培】

次年度の開催年に備え、県内各会場で推奨花の栽培を実施



開催年
2024年

【会場での栽培】

両大会の会期にあわせ、県内各会場で推奨花を栽培

■花いっぱい運動

大会開催に向け、県内各地でおもてなしの花を育てる取り組みが行われました。子どもからお年寄りまで幅広い世代が参加し、開・閉会式会場や各競技会場、交通拠点などをいっぱいの花で飾りました。



役員懇談会

福井県選手団
激励会

団体障アボを支えた
県民の皆さん

来場者への
おもてなし

炬火・文化プログラム

両大会のPR

運営・施設整備

入賞記念品等